

平成 29 年 度

(公共下水道特別会計)

主 要 な 施 策 の 成 果 の 説 明

芽 室 町

款	項	目	事業番号	決算書上の事業名
1	総務費	1 総務管理費	140139	十勝川流域下水道事業
1	総務費	2 施設管理費	140140	十勝川流域下水道事業
2	事業費	1 事業費	140141	十勝川流域下水道事業

事務事業名	十勝川流域下水道事業	事務事業の性格	毎年繰返事業	開始年度 事業期間	昭和 52 年度から 年度まで
-------	------------	---------	--------	--------------	--------------------

(1) 事務事業の目的と効果

1.手段(事業の概要) 十勝川流域下水道施設の建設費及び維持管理費の一部を負担金として支出する。
2.対象(何を対象にしているのか～人、公共施設、自然資源など) 公共下水道を利用している町民
3.意図(この事業によって、対象をどのようにしたいか) 公共下水道を提供することにより、衛生的かつ良好な生活環境を実現する。

(2) 事務事業の環境変化

1.この事務事業を開始した背景 帯広圏広域都市計画区域を構成する1市3町において、流域別下水道整備総合計画に基づいた十勝川流域下水道事業が計画され、これに参画した。
2.事務事業を取り巻く状況と今後の予測 (どう変わったか、どうなるか) 十勝川浄化センターの設備・備品が更新時期を向かえ、建設費の負担金が増加することが見込まれる。

(3) 事務事業に関する変更点

☐ 新規の事務事業	☐ 統廃合・分割などによる変更	☐ 対象・意図の見直しによる活動指標の変更
----------------------------------	--	--

(4) 総事業費・指標等の推移

※上段(3)の項目に該当する場合、28年度の内容は空欄としていたことがあります。

		単 位	28年度 (実績)	29年度 (実績)	30年度 (予算)
投入量	事業費	国・道支出金	円		
		地 方 債	円	7,400,000	6,200,000
		その他(使用料等)	円		2,905,000
		一 般 財 源	円	96,831,140	112,209,000
		事業費計 (A)	円	104,231,140	121,314,000
	人件費	正職員従事人数	人	3	3
		人工数(業務量)	年間	0.0173	0.0176
		人件費計 (B)	円	142,545	136,920
	トータルコスト(A)+(B)		円	104,373,685	95,771,237
活動指標	建設費負担金		円	9,997,140	1,840,317
	維持管理負担金		円	94,224,000	93,794,000

(5) 歳入に関する説明【特定財源の内訳】

細 節 名	単 位	28年度 (実績)	29年度 (実績)	30年度 (予算)
流域下水道事業起債	円	7,400,000	0	6,200,000
	円			
	円			
	円			
	円			
	円			

事務事業の成果に関する説明

十勝環境複合事務組合負担金(十勝川浄化センター)

	十勝川浄化センター	芽室町		備考	当初	差
負担金(千円)	685,848	93,794	13.7%		96,004	-2,210
うち基本割(千円)	47,624	5,513	11.6%	事務局費	5,513	
うち実績割(千円)	632,122	87,567	13.9%	維持管理費	89,734	-2,167
うち岩内堆肥舎(千円)	6,102	714	11.7%	堆肥舎建設費	757	-43
受入汚水量(㎡)	25,096,115	3,481,958	13.9%	H29.1～H29.12	3,684,000	-202,042

十勝川流域下水道協議会負担金 0 円 (H29より当面の間徴収無し)

十勝川流域下水道事業負担金 1,840,317 円

事業概要

種別	工事等内容
管渠	再生処理水施設設計
処理場	処理場設計・耐震詳細設計

款	項	目	事業番号	決算書上の事業名
1 総務費	2 施設管理費	1 施設管理費	140151	下水道施設災害復旧事業

事務事業名	下水道施設災害復旧事業	事務事業の性格	期間限定事業	開始年度 事業期間	平成 29 年度から 平成 29 年度まで
-------	-------------	---------	--------	--------------	--------------------------

(1) 事務事業の目的と効果

1.手段(事業の概要)
台風の影響による浸水対策及び台風被害によって被災した施設等の原形復旧を行うもの。

2.対象(何を対象にしているのか～人、公共施設、自然資源など)
公共下水道施設
(第1・2汚水中継ポンプ場、西工雨水ポンプ場、緑町第10排水区樋門他)

3.意図(この事業によって、対象をどのようにしたいか)
浸水対策に向けた排水ポンプ稼働及び台風被害によって被災した施設等の原形復旧を行い、住民の生活を維持する。

(2) 事務事業の環境変化

1.この事務事業を開始した背景

2.事務事業を取り巻く状況と今後の予測
(どう変わったか、どうなるか)

(3) 事務事業に関する変更点

☐ 新規の事務事業 ☐ 統廃合・分割などによる変更 ☐ 対象・意図の見直しによる活動指標の変更

(4) 総事業費・指標等の推移

※上段(3)の項目に該当する場合、27年度の内容は空欄としていたことがあります。

			単 位	28年度 (実績)	29年度 (実績)	30年度 (予算)
投入量	事業費	国・道支出金	円			
		地 方 債	円			
		その他(使用料等)	円	48,699,498	9,828,000	
		一 般 財 源	円			
		事業費計 (A)	円	48,699,498	9,828,000	
	人件費	正職員従事人数	人	2	2	
		人工数(業務量)	年間			
		人件費計 (B)	円			
トータルコスト(A)+(B)		円	48,699,498	9,828,000		
活 動 指 標		被災した下水道施設	箇所	3	1	

(5) 歳入に関する説明【特定財源の内訳】

細 節 名	単位	28年度 (実績)	29年度 (実績)	30年度 (予算)
一般会計繰入金(災害復旧事業)	円	48,699,498	9,828,000	
	円			
	円			
	円			
	円			
	円			

事務事業の成果に関する説明

1 浸水対策・被災した施設の復旧に要した経費	9,828,000 円
(1) 工事請負費	9,828,000 円
復旧に要した工事費	9,828,000 円
・ 南町樋門 吐口部復旧	9,828,000 円

平成29年度予算計上額	平成29年度執行額	平成30年度への繰越額
9,828,000円	9,828,000円	0円

(水道課 下水道工務係)

[illegible]

款		項		目		事業番号	決算書上の事業名
2	事業費	1	事業費	1	事業費	140134	下水道建設事業

事務事業名	下水道建設事業	事務事業 の性格	毎年繰返事業	開始年度 事業期間	昭和 48 年度から 平成 年度まで
-------	---------	-------------	--------	--------------	-----------------------

(1) 事務事業の目的と効果

1.手段(事業の概要) 市街地の多くの町民が水洗トイレ等良好な生活環境が確保できるよう、街路事業との連携を図りながら効率的な下水道施設の建設を行う。 持続可能な下水道とするため、下水道施設の点検調査・耐震化診断等を行い施設の健全度向上を目的とした計画的な改築・更新を行う。
2.対象(何を対象にしているのか～人、公共施設、自然資源など) 公共下水道施設
3.意図(この事業によって、対象をどのようにしたいか) 河川・公共水域の汚濁防止・水質保全と水害による被害の防止

(2) 事務事業の環境変化

1.この事務事業を開始した背景 昭和48年度(昭和49年3月)芽室町公共下水道の整備計画樹立により下水道整備が始まった。
2.事務事業を取り巻く状況と今後の予測 (どう変わったか、どうなるか) 雨水整備はコスト削減のため道路整備と同時に整備を進めてきた。現状においては道路整備の際の道路縦断管での対応に依存しており、宅地内の雨水処理については地下還元方式の地下浸透を自己責任として指導を進めていく。汚水は、整備がほぼ完了の状況であり、開発行為などの宅地造成に伴う整備が主となる。 今後は老朽化する下水道施設を計画的に改築・更新し、施設の健全化に取り組んでいくことが重要となる。

(3) 事務事業に関する変更点

☐ 新規の事務事業	☐ 統廃合・分割などによる変更	☐ 対象・意図の見直しによる活動指標の変更
----------------------------------	--	--

(4) 総事業費・指標等の推移

※上段(3)の項目に該当する場合、28年度の内容は空欄としていたことがあります。

			単 位	28年度 (実績)	29年度 (実績)	30年度 (予算)
投入量	事業費	国・道支出金	円	50,781,600	35,262,000	54,800,000
		地 方 債	円	48,100,000	30,600,000	55,800,000
		その他(使用料等)	円	2,933,438	3,283,801	1,959,000
		一 般 財 源	円	5,063,837	17,248,684	18,356,000
		事業費計 (A)	円	106,878,875	86,394,485	130,915,000
	人件費	正職員従事人数	人	2	2	2
		人工数(業務量)	年間	0.5247	0.4694	
		人件費計 (B)	円	4,323,303	3,651,728	
トータルコスト(A)+(B)		円	111,202,178	90,046,213		
活 動 指 標		雨水整備延長	m	44,976	44,976	44,976
		汚水整備延長	m	111,516	111,516	111,516

(5) 歳入に関する説明【特定財源の内訳】

細 節 名	単 位	28年度 (実績)	29年度 (実績)	30年度 (予算)
社会資本整備総合交付金	円	50,781,600	35,262,000	54,800,000
補助事業分公共下水道事業起債	円	45,100,000	28,500,000	37,000,000
単独事業分公共下水道事業起債	円	3,000,000	2,100,000	18,800,000
下水道事業受益者負担金	円	2,247,300	2,921,360	1,959,000
不用品売払代	円	676,138	362,441	
寄付金	円	10,000		
	円			

事 務 事 業 の 成 果 に 関 す る 説 明

施工実績(管渠延長)(補助+単独)

	区分	事業計画	平成28年度末	平成29年度施工	平成29年度末	進捗率
雨水	延長(m)	123,675	44,011		44,011	35.6%
	面積(ha)	793.3	390.8		390.8	49.3%
汚水	延長(m)	115,770	109,234		109,234	94.4%
	面積(ha)	793.3	737.1	6.5	743.6	93.7%
	ポンプ場	2箇所	2箇所	0箇所	2箇所	100.0%

補助事業分

(1) 工事請負費

・第2汚水中継ポンプ場受変電設備更新工事	受変電設備更新	1 式
・第2汚水中継ポンプ場計測設備更新工事	計測設備更新	1 式

(2) 委託料

・管路耐震診断調査委託	データベース構築	1 式
・管路施設ストックマネジメントTVカメラ調査診断委託	管路調査診断	1 式
・価格調査委託	電気機器単価策定	1 式

単独事業分

(1) 工事請負費

・公共樹新設工事		5 基
----------	--	-----

(水道課 下水道工務係)

建設事業等の説明 (単位:円)						
事業(工事)名 及び事業内容	事業費	財源内訳				備考
		国道支出金	起債	その他	一般財源	
補助事業(工事)						
第2汚水中継ポンプ場受変電設備更新工事一式	31,752,000					北海道富士電機㈱ H29.7.3~H30.2.28
第2汚水中継ポンプ場計測設備更新工事一式	10,800,000					北海道富士電機㈱ H29.7.31~H30.2.28
小 計	42,552,000					
補助事業(委託)						
管路耐震診断委託一式	21,060,000					㈱日水コン 北海道支所 H29.7.10~H30.2.20
管路施設ストックマネジメントTVカメラ調査診断委託一式	5,724,000					㈱日水コン 北海道支所 H29.8.28~H29.12.15
価格調査委託一式	1,188,000					(一財)経済調査会 北海道支部 H29.12.22~H30.3.20
小 計	27,972,000					
合 計	70,524,000	35,262,000	28,500,000	2,820,360	3,941,640	

(水道課 下水道工務係)

建設事業等の説明 (単位:円)						
事業(工事)名 及び事業内容	事業費	財源内訳				備考
		国道支出金	起債	その他	一般財源	
公共樹新設工事 (その1) 公共樹1基 取付管L=6.60m	442,800					(株)宮間工業 H29.4.26～H29.5.25
公共樹新設工事 (その2) 公共樹1基 取付管L=5.10m	324,000					(株)松山工業 H29.9.22～H29.10.31
公共樹新設工事 (その3) 公共樹2基 取付管L=20.00m	1,015,200					(株)松山工業 H29.11.28～H30.1.31
公共樹新設工事 (その4) 公共樹1基 取付管L=8.37m	496,800					(株)松山工業 H30.1.30～H30.3.15
合 計	2,278,800		2,100,000	101,000	77,800	